

令和5年度 第3回成田市水道事業運営審議会 会議概要

1 開催日時

令和6年1月30日（火）午後2時30分から午後3時40分まで

2 開催場所

成田市山口293-1

成田市水道部 2階 第1会議室

3 出席者

(委員)

遠藤会長・伊藤副会長・宮田委員・椎名委員・岩館委員・伊地知委員

(事務局)

堀越水道部長・平山業務課長・野平工務課長・石橋業務課長補佐・

岡野工務課主幹・伊藤工務課主幹・石毛業務課係長

4 議題

水道料金のあり方について

(1) 基本料率案等について

(2) 改定料金案について

5 議事(要旨)

(1) 基本料率案等について

資料に基づき、主な改定率の増減理由について説明を行った。

【遠藤会長】

並木町配水場の次に行う改修事業はどこか。

【事務局】

配水場の改修事業としては、三里塚配水場である。

【伊藤副会長】

計画で配水場を7箇所を集約するとのことだが、今回の料金改定にその費用が盛り込まれているのか。

【事務局】

今回の改定は、令和11年度までの5年間なので、三里塚配水場の改修事業まで、配水場の統廃合の事業は、その後になる。

【伊地知委員】

厚生労働省が発行している「いま知りたい水道」で、「水道を運営するコストは削減できないか？ 施設をスリム化に 近くのまちと協力して」とあります。地球環境を考えて施設をスリム化していく必要があると思うが、本市の計画はどうか。

【事務局】

水道事業施設更新計画で令和30年度までの目標を設定しており、その中で11箇所の配水場を7箇所に集約する計画がある。今後の給水人口の状況等を考慮して具体的に検討していく。

【伊地知委員】

近くのまちと協力するという点では、水道事業体の境界をなくした方が効率的だと思うが取組はどうか。

【事務局】

周辺の事業体とは、事務的なことなどできることから取組む動きはある。また、千葉県営水道と印旛広域水道の統合に向けた研究会は行われているが具体的な協議には至っていない。

【岩館委員】

参考資料の主な改定率の増減理由について、「盛り気味であった」とあるが、説明をお願いしたい。

【事務局】

表現が適切ではなかったが、令和5年度当初予算編成に当たっては、物価高騰やコロナ禍の状況について、先行きが不透明であったため、動力費等の費用が不足しないよう安全を見た予測値で計上した。1月になり令和5年度の決算見込みを算出したところ、結果として過大となっていたものである。

【遠藤会長】

能登半島の地震で震度7に耐震化した水道管が被害にあったと聞いた。本市

の耐震化率とその対応震度は。

【事務局】

水道管の耐震化の考え方で言うと、震度6強以上で、耐震化適合率は、令和4年3月末で、58.7%である。

【遠藤会長】

これにより耐震化の基準はかわるのか。

【事務局】

今後、国が検証すると思われる。

【伊藤副会長】

改定率を検討してきた中で、今回少し下がった。剰余金について、最低限の確保という考えで良いのか。

【事務局】

損益勘定留保資金について、令和4年度の並木町配水場改修事業での資金の動きを参考にして、14億円程度あれば不足することはないと考える。もし不足する見込みになった場合は、その年度以降に留保資金の充当を下げ、借入れを増やすなどに、方針を変えることもできる。

(2) 改定料金案について

資料に基づき、口径、水量区分の改定率をケースごとに説明を行った。

【伊藤副会長】

今回の改定は、令和11年度までを見込んでいるが、その間の事業費は赤字が解消されるのか。

【事務局】

どの資料のケースにおいても5年間黒字を確保できる。

【伊地知委員】

事務局としてはすべてに改定率を一律としたケース1を勧めると説明がありました。私は、13mmの改定率を県内平均にするケース4がいいと思う。改定率

が90%と驚く数字だが、改定後料金額をみると20mmと比べて、それほど高いとは思わない。

【遠藤会長】

審議会の意向を決めるうえで、決を採った方がいいのか。

【事務局】

ご意見をいただいた中で、決めていただければと思います。

【宮田委員】

事務局としては、ケース1を推奨しているとのことだが。

【事務局】

公平であり、説明がしやすいものとする。

【宮田委員】

13mmと20mmの使用割合が多いのでそこに合わせることを説明しやすいと思う。

【伊藤副会長】

金額的には、どのケースもそれほど変わらない。どれを優先させるのか。

【事務局】

政策的にどの口径を優先させるというものはない。

【椎名委員】

大口の利用者としては1%でも値段が上がらない方がいいと思うが、今後の事業の継続性を考えれば値上げは必要だと理解する。公平性を考えれば、ケース1が妥当だと思う。

【岩館委員】

数年前に町内の施設で20mmを使用していたが、シミュレーションしたら13mmのほうが安くなることがわかり、変更した経緯がある。

【事務局】

13mmか20mmにするかは、建物等の水栓数や人数にもかかわるので、7～

8 栓あるお宅では、20mmが必要になる。

【岩館委員】

13mmと20mmの料金の差が開けば、口径を変更する方もあると思う。

【遠藤会長】

当審議会の意見をまとめたいと思います。

ケース1で賛成の方の挙手をお願いいたします。

【委員】

賛成多数

【遠藤会長】

私個人として、成田ニュータウンの県営水道利用者が約4万人、それ以外の成田市営水道利用者が約7万5千人で、料金格差が気になりますが、公平性の観点からケース1でまとめたいと思います。

6 傍聴

(1) 傍聴者

1人（うち記者0人）

7 次回開催日時（予定）

令和6年3月

以上